

(様式 6 - 1)

## 実績概要 (ホームページ掲載用)

研究又は活動のテーマ	自然災害に備えた社会資本の整備と防災への取り組みに関する技術講演会
助成事業者	一般社団法人 宮崎県地質調査業協会
代表者	会長 小 島 淳 二

(目的) 近年、気候変動等の影響により激甚化する水害に備えた河川工事や、築堤等の際に近隣の自然環境に配慮したハード・ソフト一体となった河川整備のあり方が課題となっている。また、日本でも有数の地震発生領域である日向灘に接している本県では、南海トラフを震源とする巨大地震や津波対策を含めた防災・減災対策についてもクローズアップされている。

このような中、社会資本整備に携わる地域の技術者のレベルアップに貢献するため、会員はもとより県内の官公庁、建設産業の技術者等の皆様に自然環境保護意識や防災対策意識を深めてもらうことを目的に本講演会を開催した。

(概要)

当協会の令和4年度技術講演会は、“自然災害に備えた社会資本の整備と防災への取り組み”をテーマに下記のとおり開催された。

### 記

- 1 日 時 令和4年11月9日(水) 13時30分～16時30分
- 2 会 場 ニューウェルシティ宮崎 2階大ホール

- 3 講演及び講師

基調講演 「河川における環境対策について」

講 師 国土交通省九州地方整備局宮崎河川国道事務所

副所長 中島 忠 氏

技術講演 「日向灘における地震活動と観測研究 ～ 過去、現在、そしてこれから」

講 師 京都大学防災研究所附属地震予知研究センター宮崎観測所

助 教 山下 裕 亮 氏

- 4 参加人数 行政技術職員、県内建設産業技術者、協会会員等 138名

- 5 概要及び成果等

中島講師より河川工事における環境への配慮事項の具体的な取組みや、水辺の賑わい創出及び環境保全活動の事例について紹介していただいた。

また、山下講師より日向灘における過去の地震活動や、現在実施されている最新の観測研究を踏まえ、日向灘において今後どのような事が想定されるのかをお話ししていただいた。

今回の講演会を開催したことにより、参加者の自然環境保護意識や防災対策意識を更に深めて貰うことで、本県における今後の社会資本の整備や維持管理の取組に寄与できるものと考えている。